

平成23年におけるボイラー等の 災害発生状況

平成23年に発生したボイラー及び圧力容器関係の事故のうち、重大なものとして事故発生の事業場を所轄する労働基準監督署で調査を実施した事故は2件であり、これらの事故に伴う死傷者数は2名であった。

容器の内訳は、ボイラーの事故2件で死傷者2名となっている。

業種の内訳は、製鉄業が1件、その他の清掃・と畜業が1件となっている（表1参照）。

事故の種類別にみると、爆発が1件、墜落・転落が1件となっている（表1及び表2参照）。

これらの事故の要因についてみると、2件の事故に対して2件の要因が認められる。これらの要因の内訳は、「構造の欠陥」及び「安全装置不良」は該当せず、「管理の不良」が2件である。さらに、「管理の不良」については、「作業方法手順の誤り」及び「その他」がそれぞれ1件となっている（表3参照）。

表1 ボイラー及び圧力容器の災害の種類別・業種別件数、死傷者数

(平成23年1月～12月)

業種	ボイラー等の種類	災害の種類	ボイラー		小型ボイラー			第一種圧力容器			第二種圧力容器			計	
			災害件数	死者傷数	災害件数	死者傷数	災害件数	死者傷数	災害件数	死者傷数	災害件数	死者傷数	災害件数	死者傷数	
製鉄業		爆発	1	1(0)										1	1(0)
その他の清掃・と畜業		墜落, 転落	1	1(1)										1	1(1)
合計			2	2(1)										2	2(1)

() 内は死亡者数で内数

表2 ボイラー及び圧力容器の種類別、災害の種類別件数

(平成23年1月～12月)

ボイラー等の種類	ボイラー									小型ボイラー	第一種圧力容器	第二種圧力容器	合計	
	蒸気						温水	貫流	小計					
災害の種類	水管式	立形	炉筒煙管式	鑄鉄製	廃熱	その他								
合計	1		1							2				2
爆発	1									1				1
墜落, 転落			1							1				1

表 3 ボイラー及び圧力容器の種類別・災害の要因別件数

(平成23年 1月～12月)

災害の要因 ボイラー等の種類	構造の欠陥						管理の不良						安全装置不良			合 計				
	溶接 工作 不良	板厚 不良	材質 不良	構造 不良	自動制御装置の不備	その他	小計	点検整備の不良	監視不良	計装器類の故障	作業方法手順の誤り	技能の未熟 (無資格も含む)	給水を怠る	水処理の不適	その他		小計	機能不良	具備していない	小計
合 計										1					1	2				2
ボイラー										1					1	2				2

(注) 1件の災害で要因が2以上になることもある。

